

【第1回目のまとめ】

- 場所の機能や役割を明らかにする必要がある。
- それぞれの拠点に求める内容をキーワード的に整理するとわかりやすくなる。
- コーディネート、支援できるプロを指定管理者に求める。
- 上記を踏まえた仕様書や募集要項づくりが必要である。

【第2回目の議論】

- * 行政の施策と拠点の役割が一致する。
- * つながりづくりは、社協もやっているのでは？
→福祉に特化したつながりづくりはできている。
- * コーディネーター同士もつながる場所としての中央公民館やコミセン
- * いつ行ってもいいという場所

中央公民館で「こういうことを実現してほしい！」という機能を整理して公募する。

【中央公民館の指定管理の方向性】

必要な機能を示すことで、行政ではできない発想がでるはず。
↓
プロポーザル方式で実施しては。

- ① 4コミセンの連携と活性化を図るセンター機能、情報流通機能
- ② 生涯学習の拠点として、住民の学びや成長を促進する講座・活動する機能
- ③ 地域活動支援、団体活動の立ち上げ支援や活性化をアドバイスする機能
- ④ 地域住民のつながりづくりと交流促進、新規の人をつなぐ機能

- 災害対応について…BCPも入れておく。
- 各種計画を実現する内容 →予算化しやすいのでは
- 行政内でお金の話もしっかりする。

<評価について>

- 数値目標は必要か？提案した内容が達成できているかの評価
- 質的評価…数や量の評価ではなく、プロセスを評価する。
- 第3者評価を入れてはどうか。

【第2回目のまとめ】

提言書には理念をまとめ、指定管理者の募集要項や仕様書等に反映させる！

提言(理念)

募集要項・仕様書